

日野・生活者ネットワークニュース

No.154

2019年4月20日発行

発行/日野・生活者ネットワーク 発行責任者/出沼恵美子
〒191-0062 日野市多摩平 2-3-12 中央日石ビル 4F
URL <http://hino.seikatsusha.me/>



種を守ろう！命を守ろう！

種が消えれば食べ物が消える。そしてあなたも！

昨年4月、主要農作物種子法（以下、種子法）を廃止する法案が、農業関係者に説明もないうまま、12時間余りのスピード審議で可決。日本の食と農業を支えてきた種子法が廃止されてしまいました。種子法とはどんな役割を果たして来たのか、廃止されたことで私たちの食生活にどう影響するのか。「農業基本条例」を全国に先駆けて制定した日野市です。私たちの、将来の子どもたちの問題として、皆さんと一緒に考えていくため、まずは知ることから始めようという学習会を開催しました。

そもそも種子法ってなに？

稲、麦、大豆の優良な種子の生産・普及・安定的供給を目的に国と都道府県の責任を定めた法律です。昭和27年、サンフランシスコ講和条約発効のわずか3日後に交付施行されたことから、戦中戦後直後いかに人々が飢えに苦しんだか、そして同じことを繰り返さぬようにという強い決意が感じられます。この種子法のもとで安定した安価な種子の供給が実現し、またその土地に合った種子が都道府県の農業試験場などで開発・管理され、多様な品種の栽培が公的に保たれてきました。一方、法律で守られていなかった野菜などの種子は、9割が国外生産であり、その価格は上がる一方となっています。

なぜ突然廃止されたの？

その理由は、民間の品種開発意識を阻害していると言われていたこと。しかし実際はメーカー開発の米が大手外食チェーン店で使用されるなど、民間企業開発の品種は複数あり、阻害しているとは言えず、廃止理由にはなりません。

また、種子法の廃止と共に成立した「農業競争力強化支援法」は種子業界へ

の民間参入を促し、競争原理を働かせることを目的としています。

それで私たちの食はどうなるの？

種子生産の公的な支えがなくなることで、大企業による種子の独占が進むことが予想されます。利益優先のため、どの地域でも同じ品種を大量に生産できるよう、品種の多様性が失われ、品種改良が進み、農業を多用することにならざると思われず。

同時に、F1種子＝一代限りの種子（栽培後、タネをとり植えても同じものができない種子）で農業者に種子を買わせ続ける仕組みができあがり、農業のあり方そのもの、食文化が変わり、農産物の安全性も懸念されています。

まずは知ることから始めよう

学習会では、DVDで世界の種子事業の現状を知ったあと、日野市内の農業者、小林和男さんに農業者の立場から種子法廃止後の思いをお話し頂きました。



「農家はタネを大切に保存し、それを代々受け継いでいきます。絶滅してもタネさえあればまた作れるのです。」と種子の大切さを改めて伺いました。実際に、小林さんは日野で品種固定されたが途絶えてしまった平山陸稲（おこぼ）の種子を探し出し、子ども達と一緒に復活させて広める活動をされています。多様な種子を公的機関で管理することの大切さを実感しました。

まちづくりの主役たち

「農のある暮らしづくり協議会」は、日野市まちづくり条例のもと、テーマ別の取り組みとして立ち上がり、日野市への提言をまとめて実践につなげる活動を行っています。農のある暮らしは私たちの生活に潤いや豊かさを与えてくれ、誰もが望んでいること。そこで、畑の見学や農地にかかる税の学習会、法律の動きなどの現状を調査し、どうしたら地域のコミュニティの場としての農地を残すことができるかを考えます。提案は今年中に市長に提出予定。農のある暮らしづくりは進むのでしょうか？進めなくては！



市民の要望が実る

2019年度予算が、3月議会で審議可決されました。

日野・生活者ネットワークでは、私たちが納めた税金の使い道として、市民の願いを反映させるため、毎年「予算要望書」を提出しています。

2019年度も、市民の皆様から頂いた一言提案とこれまでの要望を、先の市議選で提示した政策に則して精査した21件への予算措置を要望しました。日野市から対応が示された中から5件ご報告します。

★生活困窮者支援法に基づく、就労準備支援事業を早期に実施し、中間就労の場をコーディネートすること。

→「福祉の初期総合相談窓口」を開設。就労を希望する相談者は、日常生活等の支援が必要であり、すぐに一般就労につくことは困難なものが多いことから、今後、事業について調査・研究し、来年度の実施に向けて検討。

★絵本の点字図書を増やすこと。

→平成30年10月1日現在、点字絵本を426タイトル（485冊）所蔵。その他、布絵本やマルチメディアデジター図書（視覚障がい者のためのデジタル録音図書）も所蔵。今後も点数を増やすとともに、必要な子どもに届くようにPRに努める。

★選挙での投票率向上のため期日前投票所として、日野市の主要3駅での開設及び移動投票所を検討すること。

→今年7月の参議院議員選挙よりイオンモール多摩平の森で期日前投票所を開設。

★街路樹キーパー同士の情報交換の場を設けること。

→懇談会実施に向け検討する。

★避難所ともなる市内の全小中学校の体育館にエアコンを設置すること。

→国や都の助成制度を注視し、中学校から優先的に設置をすすめる。

2020年度予算につきましても、引き続きご提案をお待ちしています。